日本野鳥の会神奈川支部
高麗山定例探鳥会

あおばと
緑 鳩

出会いにドキドキしたい
会報 190 号
2002 年 12 月

第 191 回 定例探鳥会

日 時 ： 2002 年 11 月 10 日 (日)　　天候 ： 晴れ
コース ： 高来神社 ⇒ 八俵山 ⇒ 浅間山

今日は高来神社周辺で鳥の声がいつもよりよく聞こえるようです。冬鳥がやってきたぶんが賑やかになったのかな。ツグミ、ウグイスの声もよく聞こえています。ヤマガラもいつもより目だっていました。ドングリがたくさん落ちているので貯食に忙しいのかな？

高来神社を出発ししばらく行ったところで、大きな木にかかったキイロスズメバチの巣にビックリ。雲ひとつ無い青空にウが飛んだりしたのにもまたビックリしました。

大堂では毎年観察される謎のカワラヒワ、例年のごとくオオカワラヒワ(？)談議に花が咲く。しかしここのところ姿を見ていないな。話を持ち出すのは私だけですがね。でもほんと大堂に来ていたカワラヒワ違うんだよね。今度注意してみてください。

浅間山ではシジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、メジロ、エナガの混群、エナガも20 羽位混じっていました。鳥を探しているとオオタカらしきワシタカが何かを追うように、林の中をサーッと移動していきましたが、種は断定できませんでした。

冬鳥のアカハラ、シロハラ、モズ、シメ、ジョウビタキ、アオジも観察されいよいよ冬鳥の季節になりまたまた楽しみです。

参 加 者

参加人数　22 名 (敬称略)

1. 福田　適	2. 小野　肇	3. 下倉　紘一	4. 吉田　敬一	5. 鈴木　逸子
6. 岩崎　秀美	7. 伊藤　武雄	8. 八木　正	9. 古賀　勝秋	10. 森田　義雄
11. 紺　龍彦	12.木田　ハマ	13.大坂　英樹	14.茂木　良平	15. 松下　弓子
16. 南　博	17.(田端　裕)	18.(西ヶ谷修一)	19. (岩佐　昌夫)	20. (内山規矩雄)
21. (金子典芳)	22. (斎藤常實)			

見聞きした鳥

種類数 24　種 (ﾄﾞﾊﾞﾄを含む)

1. カワウ	2. トビ	3. オオタカ	4. キジバト	5. (ドバト)
6. コゲラ	7. ヒヨドリ	8. モズ	9. ツグミ	10. アカハラ
11. シロハラ	12. ウグイス	13.ジョウビタキ	14. エナガ	15. ヤマガラ
16. シジュウカラ	17. メジロ	18. ホオジロ	19. アオジ	20. カワラヒワ
21. シメ	22. スズメ	23.ハシボソガラス	24.ハシブトガラス	

★ 鳥の名のついた花 … 大磯･文化祭

11 月 16 日(土)から 18 日(月)の 3 日間、大磯町の滄浪閣で大磯･文化祭が行われました。
こまたんの展示会場は昨年と同じで、二階に上がったすぐの部屋を星の会と半分に仕切って使いました。初日は 8 時から会場･展示物の設営で 11 時に開場だったのですが、展示会に慣れたこまたんは準備万端整っており、手際もよく、1 時間ほどで完了しました。
今年のテーマは『鳥の名のついた花』です。八木　正さんが撮りためた花の写真と、西ヶ谷さんが描いた鳥の絵を組み合わせて、説明文をつけて展示しました。写真が 19 枚、絵が 11 枚(同じ鳥がダブっているため絵の方が少ない)、合計 30 枚を、こまたん規格のパネルにしたものを貼りました。片側の壁面全部を使ってゆったりと展示でき、見ごたえのあるものになりました。この展示の手前のテーブルには、西ヶ谷さん撮影の平塚･大磯で見られる花の写真を数多く(すみません。何枚あったかを確認していませんでした)、無造作に並べて自由に見られるようにしました。花がテーマだったためか、特に女性に人気があったように思います。ただ困ったことに花の名前を聞かれても答えられない説明員が多く、そのたびに西ヶ谷さんを呼んで答えてもらっていました。
片側はもちろんアオバトです。数あるアオバトの資料から厳選したものと、今年撮影した頭部のクローズアップ写真(美しい眼がバッチリと写っています)を展示しました。俳句、木の葉で描いた絵など、こまたんメンバーの労作も、これらと一緒に並べました。毎年アオバトの展示を続けてきているため、「アオバト、知ってるよ！」とか「夏に照ヶ崎で見たよ！」という声を多く聞きました。中には、「長年大磯に住んでいるけどアオバトなんて知らなかった」という方もいらっしゃいましたが、説明を聞いているうちに「来年は絶対に見に行くぞ！」と興味を持ったようでした。
16 日(土･初日)は 8 時から会場･展示物設営で、開場は 11 時、終了は 19 時。17 日(日)は 10 時～18 時。18 日(月･最終日)は 10 時開場、17 時終了で、その後展示物を撤収…という 3 日間でした。
長い時間会場に詰めているのは非常に疲れましたが、大勢の方とアオバト、鳥、花などについてお話ができ、充実した時間をすごせました。その後の反省会ももちろん楽しかったです。

★ 庭によく見られる実のなる木と、それを食べに来る野鳥

今頃の季節は、林の中を歩くと赤や黒い実のなっている木と、それを食べている鳥をよく見かけます。
庭によく見られる実のなる木と、その実をよく食べに来る鳥を表にしてみました。

常緑樹	アオキ	シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ
	イヌツゲ	アカハラ、オナガ、キジバト、ムクドリ、メジロ
	クチナシ	オナガ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、メジロ
	クロガネモチ	アカハラ、オナガ、カラス、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、レンジャク
	サカキ	オナガ、キジバト、ツグミ、ヒヨドリ、メジロ
	サンゴジュ	オナガ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ
	シュロ	オナガ、ツグミ、ヒヨドリ
	ツゲ	カラス、キジバト、ツグミ、ヒヨドリ
	トベラ	オナガ、ヒヨドリ、ムクドリ
	ナワシログミ	オナガ、カラス、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ

常緑樹	ナンテン	アカハラ、オナガ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ
	ネズミモチ	アカハラ、オナガ、キジバト、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、レンジャク
	ピラカンサ	アカハラ、オナガ、カラス、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ
	マサキ	アカハラ、カワラヒワ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ
	マンリョウ	ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ
	モチノキ	アカハラ、オナガ、カラス、キジバト、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ
	ヤツデ	ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、レンジャク
	ヤブコウジ	アカハラ、キジバト、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ
針葉樹	アカマツ	カワラヒワ、キジバト、シジュウカラ、シメ、スズメ
	イチイ	アカハラ、オナガ、カワラヒワ、シメ、シロハラ、ツグミ、レンジャク
	クロマツ	カワラヒワ、キジバト、シジュウカラ、シメ、スズメ
落葉樹	イチジク	オナガ、カラス、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ
	ウメ(蜜)	ヒヨドリ、メジロ
	ウメモドキ	オナガ、カラス、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ
	カキ	アカハラ、オナガ、カラス、シロハラ、スズメ、ツグミ、メジロ、レンジャク
	クコ	オナガ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ
	サンショウ	オナガ、カワラヒワ、キジバト、ジョウビタキ、ヒヨドリ
	タカオモミジ	カワラヒワ、キジバト、シメ、スズメ
	ニシキギ	カラス、キジバト、ジョウビタキ、ツグミ、ヒヨドリ、メジロ、レンジャク
	マユミ	キジバト、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ
	ムラサキシキブ	アカハラ、オナガ、カワラヒワ、キジバト、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ
蔦物	キヅタ	アカハラ、ツグミ、ヒヨドリ、レンジャク

◆ *なるほど･ザ･野鳥 (No.6)*◆

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

⑧ まるでジュラルミンだね ― 鳥の骨の特徴

鳥の身体は空を飛ぶために大変都合よくできています。例えば軽くて丈夫な模型飛行機のような骨格をしているといえるでしょう。関節部が融合しているため、ほかの高等動物に比べ、骨の数が少なくなっています。背骨は一本に固く連なり、強度を増し、胸骨には飛ぶための筋肉をつける深い竜骨突起が発達しています(飛ばない鳥であるダチョウなどは竜骨突起がありません)。内臓は背骨と肋骨、胸骨でできた箱で保護されているため、激しい運動にも耐えられるようになっています。また骨の内部は空洞になっており、大きな骨はより強度を増すためにたくさんの支柱で支えられています。

翼開長が2 mもあるグンカンドリの体重は約2 kgですが、骨格は全部で100 gにしかなりません。一般に飛ばない鳥よりも飛ぶ鳥、飛ぶ鳥の中でもゆったりと飛ぶ鳥のほうが、全体重に対する骨格の重さが軽くなっています。

鳥 報

○ アオバト情報

・ **照ヶ崎のアオバト**

11 月 30 日 9:30 3 羽が岩場で確認されている（加藤安五郎さん）のが今のところ最終の記録です。

○ その他の野鳥情報

・ 吉沢・鷹取山(下倉さんのフィールドノートから)

11/15 ： チョウゲンボウ 1、キジバト 4、アオゲラ 1、アカゲラ 1、コゲラ 3、キセキレイ 1、ハクセキレイ 2、ヒヨドリ 22+、モズ 3、ジョウビタキ 2、アカハラ 3、シロハラ 5、ツグミ 11、ウグイス 6、キビタキ 1、エナガ 20+、ヤマガラ 7+、シジュウカラ 13+、メジロ 38+、ホオジロ 3、アオジ 11、カワラヒワ 37+、シメ 3、カケス 1、ハシブトガラス 10+、コジュケイ 1、ガビチョウ 4+

11/19 ： ゴイサギ 1、キジバト 7、コゲラ 3、キセキレイ 1、ハクセキレイ 2、ヒヨドリ 21+、モズ 2、ジョウビタキ 1、トラツグミ 1、シロハラ 3、ツグミ 3、ウグイス 4、エナガ 17+、ヤマガラ 7+、シジュウカラ 12+、メジロ 70+、ホオジロ 3、アオジ 8、クロジ 1、カワラヒワ 30+、シメ 1、カケス 2、ハシボソガラス 4、ハシブトガラス 11+、コジュケイ 2+、ガビチョウ 8+

11/26 ： ヒドリガモ 1(初記録です)、トビ 1、キジバト 2、アカゲラ 1、コゲラ 8、キセキレイ 2、ハクセキレイ 2、セグロセキレイ 1、ビンズイ 1、ヒヨドリ 36+、モズ 2、ルリビタキ 1、ジョウビタキ 1、アカハラ 1、シロハラ 7、ツグミ 8+、ウグイス 9、エナガ 37+、ヤマガラ 6+、シジュウカラ 23+、メジロ 110+、ホオジロ 10、アオジ 12、クロジ 1、カワラヒワ 10+、シメ 4、スズメ 8、カケス 4+、ハシボソガラス 3、ハシブトガラス 9+、コジュケイ 3、ガビチョウ 9、キンケイ 1

初認の記録 ： 11/30 キクイタダキ 2、マヒワ 20+、ミソサザイ 1 (下倉・内山・金子さん)

・ その他 ホオアカ … 11/9 1 羽、水辺の楽校

ムクドリ … 10,000+ 平塚大橋下流のねぐら、夕方の塒入りと早朝の飛び立ちは壮観です

【お知らせ】

○ 定例カウント調査

吉沢・松岩寺 ＆ 土屋・遠藤原 2003 年 1 月 4 日 (土)
生沢・鷹取山 2003 年 1 月 11 日 (土)

<u>午前 7 時</u>に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12 時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。
特に持ち物は必要ありませんが、防寒対策はしっかりとお願いします。手袋、帽子をお忘れなく。
連絡先： 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は 2003 年 1 月 12 日(日)です。午前 7 時 30 分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第 190 号／12 月号 発行所：こまたん
斎藤 常實 0467-51-3543
岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス http://www2u.biglobe.ne.jp/~komatan/
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/